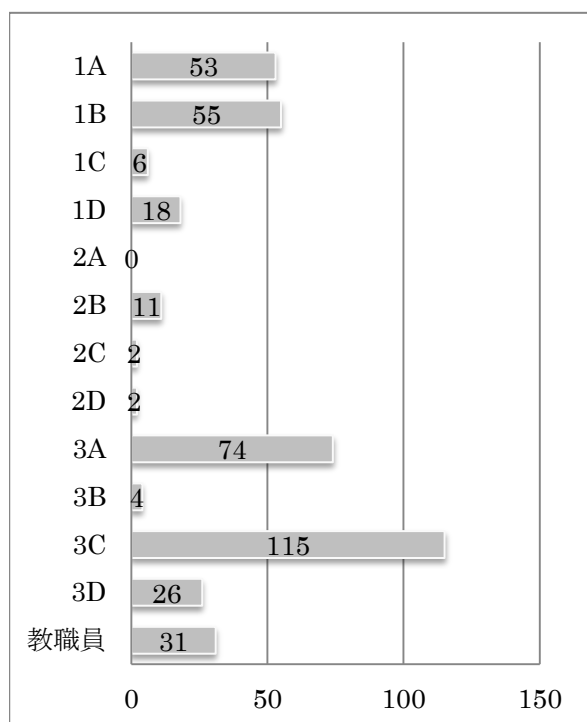


図書室だより

vol.126

♪クラス別貸出冊数発表(9/1~2/10)♪



【一人あたりの貸出冊数】上位は

★★★★★1位…3C(2.95冊)

★★★★★2位…3A(2.06冊)

★★★3位…3D(1.27冊)

★★4位…1B(1.25冊)

★5位…1A(1.20冊)

☞年々貸出冊数が減少していて、淋しいです。3年生は社会科研究のための資料を多く借りていました。2年生はもっと本を読んで下さいね!

☞3年生の貸出は2/10(金)で終了しましたが、図書室での閲覧はできます。3年間の図書室利用、ありがとうございました。

☞1・2年生には3/9(木)から、春休みの長期貸出を開始します。一人5冊まで借りることができます。貸出冊数が少ないクラスの方や、まだ図書室で本を借りたことのない方の利用をお待ちしています♪

☆図書委員からのオススメ☆

『蒲生邸事件』 宮部みゆき (B913-ミ)

昭和11年2月26日に二・二六事件がありました。

この物語は、その事件で青年将校たちの標的となった蒲生邸が舞台です。

主人公は平成6年に大学の受験の為に上京してきた孝史という人物です。

なぜ蒲生邸が舞台であるのに主人公の居る時代は平成なのかというと、

タイムトリップをするからです。

孝史は受験の為に都内のホテルに宿泊するのですが、

そのホテルは昔、蒲生憲之という軍人の屋敷—蒲生邸でした。

孝史が外へ出てみようとしてフロントに行くと、不思議な暗いオーラのようなものを

まとった男性をみかけます。夜になり、外から戻ると非常階段に人が立っていました。

その人は、前に見かけた男性でした。その後、気味が悪かったのですが孝史は部屋で眠ります。

そして、火事で目が覚めます。逃げられなかった孝史は諦めかけたのですが、

あの男性が救ってくれるのでした。気を失い、気が付くと雪の上に寝転がっていました。

二人は昭和11年にタイムトリップしたのです。

これはこの本の初めの部分です。

人間関係や時代背景、謎の男の正体などが読んでいくとわかってきます。

最後には感動します。ぜひ読んでみて下さい。

1年 女子図書委員

3年生の皆さん、高校時代の読書記録に読書通帳を作りませんか? 3年間に図書室で借りた本の書名、借りずに買ったからおいくら?などがわかります。希望する人はカウンターに声をかけて下さい。もちろん1・2年生も作れます♪